

青嵐（あおあらし）とは、「初夏の木々の葉をゆすって吹くやや強い風」、「青々とした山の気」などの意味がある言葉です。逗葉高校を吹き抜けるさわやかな風と、生徒の皆さんのたくましさをイメージしました。第5回は、2学期の始業式でお話した内容です。

逗葉高校の皆さん、よい夏休みを過ごせましたか？長期休業だからこそその体験ができましたと言う人もいるでしょうし、ほとんど毎日部活でしたとか、受験勉強を頑張りましたとか、なんだかぼんやりしていたら終わっちゃいましたとか、いろいろな人がいることでしょう。どんな過ごし方をしたとしても、高校生時代の夏休みの思い出は、皆さんの胸に残ることでしょう。

今年はオリンピックイヤーです。連日各種メディアで報道されていきましたから、「特に興味ないよ」という人でも、様々な話題を目や耳にしたと思います。

私も、日本選手の活躍に感動したのはもちろんですが、偶然目に入った映像の中の選手たちの姿に、目を奪われ、つい見入ってしまうことがありました。トレーニングを重ねた身体で精一杯の競技をする姿は、所属や結果を超越して、とても美しいものです。

ところで、選手たちはなぜあそこまで超人的とも言える動きができるのでしょうか。確かに身体が動いているのですが、動かしているのは脳です。よく、試合などでとっさに良い動きができたときに、「反射的に」という言葉を使いますが、それはトレーニングしたことによって、脳が瞬時に判断して的確な命令を出し、身体がそれに応えられたということです。トレーニングをすると、身体と脳は共に鍛えられるのです。

また、脳はまだ実現していない姿を見せてくれます。美しく跳んで着地を決める、完璧なスタートを切る、相手の打ったボールに追いつき見事に打ち返す、そんな想像力が選手たちをさらに強くします。脳の中で身体を動かし、成功する姿や勝つ試合展開を想像して、技術や試合の組み立てを向上させる方法は、イメージトレーニングと呼ばれていますね。

9月にはパラリンピックがありますが、義足で陸上競技に参加を目指す選手が「競技用の義足を使いこなすためには、健常者だったときにはそこに筋肉があるとは想像もつかなかった部分の筋肉を鍛えなければならない。義足が自分の足のように地面をけて跳躍する姿を一生懸命イメージしながらトレーニングすることで、その時動く筋肉を意識することができ、やがて動かせるようになる」と、話しているのを聞いたことがあります。

想像力は、私たちの限界を押し広げる力になるのです。

しかし、残念なことに、このすばらしい想像力が、誤って機能することがあります。

例えばテロリストたちは、ゆがんだ未来を想像して、その実現のために多くの人々を殺害し自らも自爆することを厭いません。テロリストが想像する未来には、自分たちと違う価値観を持つ者はいません。それこそがパラダイスだと信じ、ありえない未来が実現することを想像して、恐ろしいテロ行為に及びます。多くの人を道連れにして死ねば、自分はそのパラダイスに行けると想像し、身勝手な自己満足にひたれるのでしょ

7月26日に発生した「津久井やまゆり園」での痛ましい事件も、一人の人間のゆがんだ想像力が引き起こした事件と言えるのではないのでしょうか。彼は、「重度の障害者が存在しない社会が良い社会である」と決めつけ、その身勝手な理想の実現を想像して、許されない行為をしました。自分の考えを、「社会全員にとっての正義」だと言い切り、人の命を奪うことでそれが実現できるという誤った想像力に支配されて、罪もない多くの人を犠牲にしたのです。

彼の「自分に“良くない”と感じさせる存在は、その存在に罪がある。だから、社会から排除されて当然だ」という、幼稚で独りよがりな想像力は、無慈悲にナイフを振り下ろす彼自身を正当化する力となったのでしょうか。そうでなければ、計画的にわずかな時間で、46名もの人を死亡させたり傷つけたりすることなど到底できないはずです。誤った想像力が、彼に人としての限界を超えさせ、怪物にしてしまったのだと思います。

人は死んでしまうと、命と共にその人の未来や可能性がすべて失われます。確かに生きていれば迷惑を掛けることもあるでしょう。でも誰かに喜びや感動を与えることもあるはずです。人を殺すということは、その人の命だけでなく、その人が幸せにするはずだった誰かの喜びをも奪うことだということが、彼には想像できなかったのでしょうか。あまりにも悔しく悲しい事件でした。

人間は、想像力で自らを高めることもできるのに、恐ろしい怪物に変えることもできてしまいます。オリンピック選手が私たちと同じ人間であるように、テロリストもまた同じ人間です。今回の事件も、異常者の話として片付けるのでは、済まないのだと思います。人の想像力はとても大きなパワーを持っています。「フォースの暗黒面」ではありませんが、自分の中にある暗さから目を逸らすのではなく、それに負けない強さを持って、誤った想像力に捕まらないように意識してください。そして、自分を高めるような想像をたくさんしましょう。例えば、昨日より一歩前に進む姿、誰かを幸せにする姿、すべての命を大切にする姿、様々な個性を尊重する姿・・・未来に向けたイメージトレーニングです。

2学期の自分の姿も想像してみてください。

まずは、しっかり学習している姿。1学期の挽回、成績の向上、進路への準備等、具体的な姿と共に、何か新しいことを知って感動している姿も忘れないでください。

部活動では、3年生が引退した後の新しい体制で、先輩たちに負けない充実した活動をしている姿。目的意識を持って、事故のないように気を引き締めていきましょう。

また、文化祭での姿。ぜひ、一手間かけましょう。たとえ仕入れた商品を販売するとしても、装飾や商品の並べ方でオリジナリティーを見せることができるはずです。

他にも、いろいろ想像することができると思います。想像し、実現を目指してください。皆さんが豊かな想像力によって、ますます伸びていくことを期待しています。

平成28年8月31日
校長 大貫 晶子